

今年度の重点項目について

平成26年度に行ったキャリア教育アンケートの結果、本年度第2学年の生徒については、「人間関係形成・社会形成能力」はかなり意識されているが、その他の能力については意識が低いことがわかった。特に「キャリアプランニング能力」については、「ほとんどしていない」と回答する生徒が多かった。これは本年度第3学年においてもみられた傾向であり、全校の課題として特に「キャリアプランニング能力」の育成を図る必要があることがわかった。第2学年における「キャリアプランニング能力」とは、第1学年で培ってきた勤労観、社会参画への意欲をさらに高め、現在の自分、中学校卒業後の自分、さらに将来の自分をひとつのつながりとしてとらえながら、今の自分を振り返ることである。主に総合的な学習の時間、学校行事を含む特別活動への取組を通して、「キャリアプランニング能力」の育成を図っていくものとする。また、キャリア形成の指針となるよう「キャリアファイル」を作成させてその軌跡を残し、成長を確認できるようにする。

アンケートによる評価の結果から、次年度の全学年の重点項目を設定しています。さらに、重点項目に沿った目標とする生徒像を設定します。

目標とする生徒像

- ・社会人として必要な資質や能力を理解し、自分を高めようとする生徒。
- ・さまざまな活動や人との関わりの中で、キャリアアンカー（キャリア選択にあたって自分が大切にしたい価値観）を育みつつ自分の将来を考へる生徒。

月	主な行事	第2学年		その他
		重点項目に関する計画		
		取組	指導内容	
4	始業式・入学式		キャリアに関する学習 ・「キャリアファイル」について	人間関係づくり A
5	中間テスト	道徳「向上心・個性の伸張」		広島平和学習 A、C 学習の意義と目的 C
6	キャリア教育講演会 思春期講演会 教育相談	キャリア教育講演会 D 道徳「真理の探究、創造」		思春期講演会 B
7	期末テスト ふるさと体験学習			ふるさと体験学習 A
8		夏休み仕事体験 D	キャリアに関する学習 ・学活：家庭での役割 ・学活：仕事と責任 ・道徳：「真理の探究、創造」	
9	運動会			運動会への取組 A
10	中間テスト 文化祭	社会人講話 B、D	キャリアに関する学習 ・総合：社会から期待されること ・チャレンジワークの目的・意義の確認 ・「働く」ことの意義確認 ・将来の自分になるために今自	文化祭への取組 A・C
11	チャレンジワーク 教育相談	事前訪問 D チャレンジワーク A・B・C・D		この学年で、特にキャリア教育を意識して行う単元のみを年間計画に掲載しています。 キャリア教育はすべての教育活動と関連しているため、意識されずに実施される恐れがあります。それを防ぐ効果をねらった形式です。
12	キャリア教育講演会 期末テスト 生徒会役員選挙	キャリア教育講演会 D キャリア教育アンケート	キャリアに関する学習のまとめと、具体的な進路選択	
1			キャリアに関する学習 ・大切にしたいこと ・将来の夢 ・今できること	職場体験や立志式等の事前指導・事後指導の位置づけを明確にするとともに、そのつながりを学習内容の面から明確にしています。
2	立志式 学年末テスト	立志式 B、D		
3	3年生を送る会 卒業式 修了式	総合「1年間の振り返り」 次年度重点目標設定	キャリアに関する学習 ・1年後の進路選択 ・学ぶことの意義 ・「キャリアファイル」のまとめ	今年度の学習活動について、重点目標に沿った生徒・教員・保護者による評価をいつどこで行うか、年間指導計画に位置付けています。評価方法も記載すると役に立ちます。
通年		学級での係活動 D 短学活での活動 D	・役割分担と社会参画 ・さまざまな価値観	各教科でのキャリア教育の視点をもった取組
		学級での生活指導 B	・日記や自主学習ノート	

A: 人間関係形成・社会形成能力 B: 自己理解・自己管理能力 C: 課題対応能力 D: キャリアプランニング能力